

(1) 学校での視力検査

近視は小学校高学年から増え始めて、中学、高校と多くなっていきます。このように成長とともに生ずる学齢期の近視を、学校近視ともいいます。

各学校では、毎春に健康診断を実施し、その視力測定の結果などが保護者の方に手渡されます。

学年にもよりますが、一般的に視力が0.7以下になると、授業に支障をきたすと言われていました。

ただし、学校での視力測定は、あくまでも簡易的なものです。

数値が良くても、メガネが必要な方もいらっしゃいます。

また逆に、数値が悪いからと言って、必ずしもメガネが必要だとも限りません。

メガネ店に行かれる前に、眼科での受診と検査をお奨めします。



(2) 眼科での視力検査

一般的に、眼科では『隠れた目の病気』が原因で視力が落ちていないか？…をチェックします。

また、読書やゲームの時間が長くて眼が疲れ、一時的に近視状態になっている偽近視についても、必要な検査を実施します。

いろいろな検査の結果、メガネをかけたほうが良い場合には、適切な度のメガネ処方を行います。

(3) 当院の取り組み

当院では、メガネやコンタクトレンズの検査・処方を常時行っております。

ご都合の良いときに、いつでもご利用下さい。

(ただし、検査には時間がかかります。受付終了時間の30分前までにはご来院いただけますようお願い申し上げます。)

(2016.6.1)